



3学期の学校生活が始まります

明けましておめでとうございます。本日1月9日から3学期の学校生活が始まります。6年生にとっては小学校最後の締めくくり、他の学年については次の学年へのステップの学期です。保護者の皆様には何かとお世話になりますが、3学期もどうぞよろしくお願いします。

12月22日児童集会を行いました



2年生によるハンドベル演奏



4年生によるクラッピング



図書委員会の発表

「普通」って何だろう

何かを判断するときに「普通」はどうするかを基準にすることが多いと思います。しかし、普通が必ずしも良いこととはかぎりません。

「普通」にはいろいろな意味があります。「平均」「常識」「あたりまえ」「多数派」などです。例えば身長が3mもある人がいたら平均をはるかに超えているので普通ではないですね。朝、人と会ったら普通あいさつするよね、というときは常識という意味になります。人の物を盗んではいけないのはあたりまえ、普通のことです。中学生は普通制服だよね、というときは多数派という意味でしょう。

この「普通」は一緒に社会生活を送っている集団の中で決まります。年齢ごとの集団でも普通は異なるし、会社や学校、地域によっても異なります。特に日本と外国ではこの普通が大きく変わります。オランダ人男性の平均身長は182cm、日本人男性の平均身長は170cmなので普通の身長は12cmも違います。学校や会社に遅刻しない事は日本ではよく守られていますが、時間に遅れても、それほど気にしない人々の方が世界には多いようです。日本の学校には運動会や修学旅行があるのがあたりまえですが、外国で同じ事をしている学校はほとんどありません。また、中学生が制服を着ているのも世界では少数です。

普通であることが正しいと考えるのは危ないことです。それは、みんなと違って人がまちがっていると判断することにつながるからです。周り自分と違っていても気にする必要はないです。ただし、めいめいが好き勝手に振る舞う事は、個性を尊重する事とは別の問題があります。自分の家でどんなにおしゃれをしても、だらしない格好をしても他人からとやかく言われませんが、中学校で制服を着るように決められているのに自分の好きな服装をすることは良くないです。逆に、あの子のしゃべり方なんか変だよねえ、普通じゃないよねえと言うことはいじめです。

正しいか正しくないかを判断することは、実は意外とむずかしいことだと思います。周りの人たちの「普通」とバランスを取ることも必要ですが、自分にとっても周りの人にとっても良いことになるにはどうしたら良いかという基準で判断することが大切なのではないかと思います。

(「周りの人」をどこまでの範囲にするかを考える必要がありますが……)

6年生を送る会に向けて

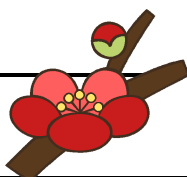
2月22日（木）に6年生を送る会が予定されています。それに向けて、各学年ではどのような発表をするのかを検討するなど、それぞれの企画が進んでいます。特に5年生は、会の運営を取り仕切るわけですから、責任重大です。こうやって、5年生は最上級生になってくために力を積み上げていくのですね。当日を迎えるまでに、いくつもの課題に直面すると思いますが最善を尽くしてほしいと思います。ご家庭におかれましても、励ましの声をかけていただけると幸いです。

全学年の保護者の方の参観を予定しております、ご都合がつけばぜひ子どもの様子を見に来てください。プログラムを見てお子さんの発表の時間にお越しくださると良いと思います。

【No.17でもお知らせしていますが、1月予定を再掲します】

1月

の予定



月	火	水	木	金	土	日
8 成人の日	9 始業式 4限 13:40下校	10 4限 13:40下校	11 4限 13:40下校	12 5限 14:55下校 PTA 常任委員会	13 わくわく 農園	14
15	16 SHP 食育授業	17 職員研修のため 13:05下校	18 SC	19 ALT ICT支援員	20	21
22 なかよしクラブ SHP	23 JTE	24 プログラミング授業	25 小中交流会	26 クラブ③ 1～3年 14:00 4～6年 15:30 下校	27	28
29	30 SHP SC 食育授業 いじめ防止出前授業	31				